



全港湾の個別賃金交渉、追い込みへ 回答額平均3、739円（回答率68%）

19春闘は中央港湾団交の進展がなかなか見られなかったことから各港湾労組の個別賃金交渉についても足踏み状態が続いていたが、5月9日の第8回中央港湾団交において議事録確認がおこなわれ、交渉が小団交の場へと移されたことを受け、個別賃金交渉についても各組合ともようやく本格交渉に乗り出した。港荷労協は中央港湾団交後に交渉を再開、妥結に至っている。

全港湾の個別賃金交渉についても、今後、妥結が進んでいくと思われるが、すでに連合の集中回答日からは2ヶ月が経過しており、まもなく夏季一時金闘争というところまでずれ込んで来ている。納得できる回答が得られるよう、最後の追い込みで頑張ろう。

なお、中央本部の春闘集計については、春闘総括議論や夏季一時金闘争への移行等の事情もあることから5月17日集計をもって区切りとしていく。交渉が6月近くまでずれ込む地方もあとかと思われるが、ご理解の程、宜しく願います。

5月11日現在の回答は以下の通り。

速報分会回答状況：140分会中100分会（71%）に有額回答が示され、回答額平均は4、033円、率で1.31%となっている。その内40分会（40%）が妥結し、妥結額平均は4、448円となっている。

昨年の最終の回答額平均3、993円を40円、妥結額平均4、059円を389円上回っている。

闘争分会の回答状況：321分会中218分会（68%）に有額回答が示され、回答額平均は3、739円、率で1.40%、昨年同時期と比べて136円減となっている。その内88分会（40%）が妥結し、妥結額平均は4、160円となっている。

昨年の最終の回答額平均3、720円を19円、妥結額平均3、773円を387円上回っている。

職種別の回答状況：港湾の回答額平均は4、056円（昨年同時期の回答額4、254円を198円下回っている）、トラックの回答額平均は2、604円（昨年同時期の回答額2、548円を56円上回っている）、一般の回答額平均は3、020円（昨年同時期の回答額2、956円を64円上回っている）。